コクヨ「鉛筆シャープ」

国際デザイン賞「DIA」でHonorable Mentionを受賞

コクヨ株式会社（黒田英邦社長、大阪市）は、鉛筆のようなシンプルさが好評のシャープペンシル「鉛筆シャープ」が、中国を代表する国際デザイン賞「Design Intelligence Award 2022（DIA2022）」において「Honorable Mention」を受賞した。

受賞した鉛筆シャープ

「DIA」は、中国美術学院と中国工業デザイン協会が主催し、浙江省政府が後援するデザイン賞。2015年にスタートし、この7年間に70カ国・地域から4万3000件を超える応募があり、中国を代表する国際的なデザイン賞の一つとなっている。同社からは、2019年にオフィスチェアー「ing（イング）」が「Silver Award」を受賞している。

今回受賞した「鉛筆シャープ」は、鉛筆の良さを見つめ直し、見た目から使い心地まで鉛筆のようなシンプルさを目指して、細部までデザインされたシャープペンシル。本体はツヤのある六角軸で、ペン先は鉛筆を削ったような質感をイメージしている。鉛筆の多様な筆記線の太さを表現できるよう、0・3～1・3ミリの5種の芯径を取りそろえ、ノック部分の穴に直接芯を入れるだけのスピードイン機構を採用するなど、きめ細かなこだわりが2020年11月の発売以来、多くのユーザーから支持されている。

また、2021年には公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「GOOD DESIGN AWARD 2021」において、「グッドデザイン・ベスト100」にも選出されている。

今回の受賞に関する、同商品の企画開発担当者は、「国内の『GOOD DESIGN AWARD』に続いて、海外でも『DIA2022』の『Honorable Mention』として評価を得、大変光栄。同商品は、『鉛筆シャープ』シリーズの原点に立ち戻り、誰もが気軽に使えるような鉛筆のシンプルさと、その印象を再現するようにサイズや素材感にこだわって開発してきた。芯径や濃度も複数用意することで、文字だけでなく図表や絵画まで幅広い筆記表現を体感してもらえるのではないかと思う」とコメントしている。

デッサンにも挑戦

恒例の鉛筆けずり入社式

三菱鉛筆

三菱鉛筆株式会社（数原滋彦社長、東京都）は、4月3日午前11時から東京都・品川区の本社で、当日出席の新入社員15名を迎え、「第16回鉛筆けずり入社式」を開催、新入社員が、創業の原点である「鉛筆」を先輩社員に教わりながら小刀で削ったほか、今回初めて削った鉛筆でデッサンにも挑戦した。

先輩の指導受けながら鉛筆けずりに挑戦

入社式に先立ち、数原社長は「本日より、皆さんは三菱鉛筆の一員になる。この鉛筆けずり入社式のアイデアは2008年、uni誕生50周年に、当時の苅手社員が『当社らしい入社式とは何か』を考えてカタチになったもので、削ることで筆記具としての持ち味を発揮する鉛筆のように、新入社員が入社後も自分自身を研ぎ続け、活躍してほしいという思いも込められている。今年は、常に新しいことにチャレンジする社風にあわせてさらに進化させ、デッサンという表現体験を加えた一味違った鉛筆けずり入社式となっている。たくさんの見学者の中で緊張する面もあると思うが、緊張感を含めて入社式を楽しんで欲しい」と挨拶。

鉛筆削りチャレンジでは「2023.4.1welcome to Mitsubisi Pencil」と名入れされた鉛筆「uni（ユニ）」1ダースが新入社員に配られ、各自が小刀を手に鉛筆削りを開始。その後、先輩社員が入場、代表して生産企画室の山嵜氏が前方スクリーンに削り方を投影しながら見本を披露し、新入社員が鉛筆を小刀で削り進めた。

新入社員のほとんどは小刀で鉛筆を削るのが初めてとあって、悪戦苦闘しながら鉛筆削りにチャレンジしていた。また、同社の目指す「世界一の表現革新カンパニー」の一員になるため、特別講師として迎えた「デッサンラボ」（デッサンのプロ集団）の指導を受けながら、課題の「自分の樹」を描く表現を体験した。

この後、先輩社員より「思いっきりものづくりの仕事が出来て、その仕事を世界中の人に届けることが出来て、それを気に入って買ってもらえることに、とてもやりがいを感じている。多様な考えを持った社員の中で、みんなが自分の意見を出し合って相互にレベルアップ出来ることは楽しいこと。一緒に仕事して高めあっていこう」「当社の社員は面倒見が良い社員が多く、困ったときは助けてくれる先輩社員がたくさんいる。一人ひとりが責任感を持って仕事をするということは大切だが、困ったときは一人で抱え込まず、周りに相談できると思う。一緒にもっと良い会社にしていこう」などの応援メッセージが贈られた。

この後、記念写真の撮影で閉じた。

鉛筆削りに挑戦した鉛筆とデッサンを持っての記念撮影

オルガテックに出展

除菌LED搭載家具など紹介

ライオン事務器

株式会社ライオン事務器（高橋俊泰社長、東京都）は、4月26～28日に東京ビッグサイト・西展示棟で開催するドイツ発の国際オフィス家具見本市「オルガテック東京2023」に出展する。

ライオン事務器のブース

展示ブースは、「My Favorite Office」をテーマに、多様な働き方に寄り添う魅力的な空間づくりを提案する。木質で統一した居心地の良いオープンスペースや、自然と人が集まりたくなるシンボリックなカフェスペース、屋外用家具を思わせるデザインを用いた非日常感を味わえるロースタイルワークなど、ワーカーのエンゲージメント向上や働くモチベーションを上げる創造的なワークスペースを再現し、体感展示を行う。

また、集中作業やWEBミーティングに適したワーキングブース「デリカブース」内に、「除菌LEDダウンライト」を搭載したモデルを参考展示する。

「除菌LED照明」は、ウイルスや細菌に対する抑制効果があるとされている、可視光線域の405nm白色LEDチップ（国内製造品）のみを使用した照明。実用的な明るさの照明機能と除菌機能を両立し、長時間にわたって広範囲にウイルス・細菌対策が期待できる。

TOKYOエシカルに参画

O…キングジム

株式会社キングジム（宮本彰社長、東京都）は、エシカル消費を広めるための東京都のプロジェクト「TOKYOエシカル」にパートナーとして参画、エシカル消費の普及や啓発に取り組んでいく。

「TOKYOエシカル」は、東京都の『未来の東京』戦略」の一環として、「エシカル消費」につながる取り組みを実施しているパートナー企業・団体とネットワークを構築し、エシカル消費を日常にするための社会的ムーブメントを創出するとともに、エシカル消費を実践しやすい環境の整備を目指していくプロジェクト。

同社は、1998年からラベルライター「テプラ」の使用済みテープカートリッジを回収し、リサイクル・リユース（再使用）を行うことで、地球環境を守る活動に取り組んでいる。

牧野博士の書斎ヤマト糊が展示

朝ドラのモデル

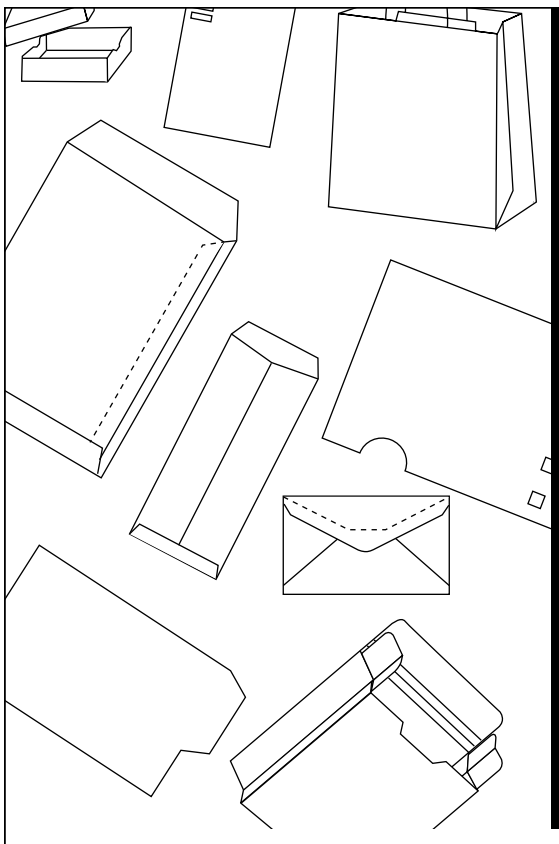
ヤマト株式会社（長谷川豊社長、東京都）の看板商品「ヤマト糊」が4月から始まったNHKの朝ドラ「らんまん」のモデルになった世界的植物学者牧野富太郎博士の書斎再現に展示され、4月3日より東京の練馬区立牧野記念庭園で公開されている。

記念庭園は、博士が逝去するまでの30年間過ごした自宅と庭の跡地。博士が愛用していた道具の中には「ヤマト糊」があり、今回再現された書斎にも瓶容器の「ヤマト糊」が展示されている。

牧野博士の書斎再現

ニッケン文具株式会社
本　社　〒577-0013 東大阪市長田中4丁目5番44号
TEL(06)6747-7711・FAX(06)6747-5557
代表取締役会長　德弘　滋　代表取締役社長　德弘　恭子
第一支店・第二支店・中央支店・関西支店
第七支店・なみはや支店・SRD事業部
東京支店・関東支店・東支店・名古屋支店
四国支店・九州支店・札幌支店
グループ会社　株式会社 エヌケイ深井

＼2023年4月に発売1周年を迎えます／
墨運堂　検索
1st Anniversary
絵墨淡（えずみたん）
小梅淡/黄柚子淡/蓬淡/浅葱淡/菖蒲淡/小豆淡の6色
色見本や作品見本は墨運堂 Twitter(@boku_undo1805) にて公開中♪
～淡い彩度の中に仄暗（ほのぐら）さを感じさせる儚（はかな）げな色彩の世界～
株式会社 墨運堂　〒630-8043 奈良市六条1-5-35　TEL：0742-52-0310　FAX：0742-45-6880


株式会社 ヤマガタ
TRADE MARK
月印紙製品
http://le-yamagata.com
紙製品は、お客様の想いを届けるための大切なツールと考えております。
製品を通じて社会貢献につながる喜びに感謝しつつ
一つ一つ大切に作り、大切にお届けしてまいります。